



HOPETOKO

創世記-27

ベテルに戻り祭壇を築く

創世記 35 章 1～15 節

ホープチャペル所沢

イントロダクション

ディナ事件の後、周りからの仕返しや襲撃を恐れるヤコブに「立ってベテルに行きなさい」という神からの語りかけがあった。多くの場合、神の語りかけは私たちが困難に直面している時にある。ヤコブの場合もそうだった。そしてその言葉に従ったときに霊的な聖めと神の臨在が回復した。今日はこのストーリーから私たちにとってのベテルの祭壇とは何かを学んでいきたい。

1) 立ってベテルに行きなさい

- ・神は私たちを責めない（創 35：1a、イザヤ 1：18）
- ・祭壇を築き直す（創 35：1b）
- ・霊的な身辺整理（創 35：2、ガラテヤ 3：27）
（偶像の処理／身を清めた／衣を着替えた）

2) 神の臨在の回復

- ・神の臨在による聖なる恐れ（創 35：5）
- ・ヤコブでなくイスラエル（創 35：9～10、2 コリント 5：17）
- ・神の名「エル・シャダイ」（創 35：11）

3) ベテルは十字架の恵みを悟るところ

- ・愛によって祭壇を築く（創 35：14、ヨハネ 13：34、ガラテヤ 5：6）
- ・ベテルは「初めの愛」の場所（ヨハネ 1：51、黙示録 2：3～5a）
- ・祭壇を築いた時に起こる変化
（偶像からの決別／聖なるものになるという欲求／色々な嗜好の聖め）
- ・私たちにとってのベテル（イザヤ 43：25、詩篇 103：12、ミカ 7：19b～20）
（十字架の恵みを悟る場所／神の臨在が戻る場所／罪の赦しかなされる場所）

まとめ

神は私たちの失敗を責めるのではなく、指摘して軌道修正を促される。私たちがその声に聞き従うときに、神の祭壇が立て直され神との関係が回復する。そしてそこには神の臨在があり、神の豊かな祝福を受ける場となっていく。私たちがもしベテルから離れているならば、神の声に従って「初めの愛」である神の元へ戻ろう。



今週のみことば

創世記 35 章 1～15 節

20241013hctj